

取扱説明書

レシートや納品書を大切に保管してください。レシートや納品書などご購入日を証明するものが、修理の際に必要になります。

マニュアルの種類

取扱説明書(本紙)

本製品を安全にお使いいただくための注意事項や、アフターサービスについてなどをご案内しています。

詳細ガイド(Webマニュアル)

下記などの本製品の使い方についてご案内しています。

- ・Windows 10を復元する
- ・Windows起動中の画面を省略する
- ・起動の度に、現在の環境に戻す
- ・CEC機能の設定方法
- ・Wake on LANの設定方法
- ・Wake on RTCの設定方法
- ・Windows Updateの停止方法
- ・アプリケーションの使用方法について など

<https://www.iodata.jp/p/244384>



添付品の確認

□ ACアダプター、電源ケーブル □ VESAマウンター



□ VESAマウンター取付ネジ



□ 本体取付ネジ



☑ 取扱説明書(本紙)

動作環境・仕様

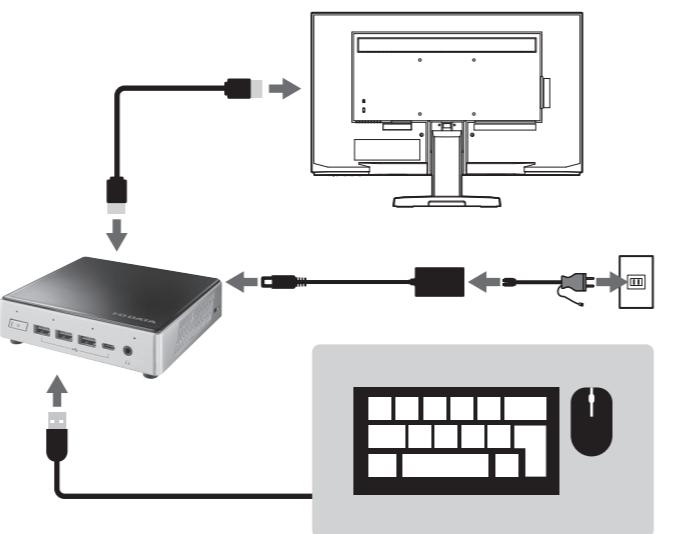
本製品の動作環境や仕様については、弊社 Web ページをご覧ください。



<https://www.iodata.jp/product/pc/pc/mpc-lvz3pa/spec.htm#spectop>

設置方法

- 1 本製品をディスプレイにつなぐ
- 2 本製品にマウスやキーボードをつなぐ
- 3 必要に応じて LAN ケーブルやマイク、ヘッドホンなどをつなぐ
- 4 本製品に添付の AC アダプターをつなぎ、コンセントに挿す

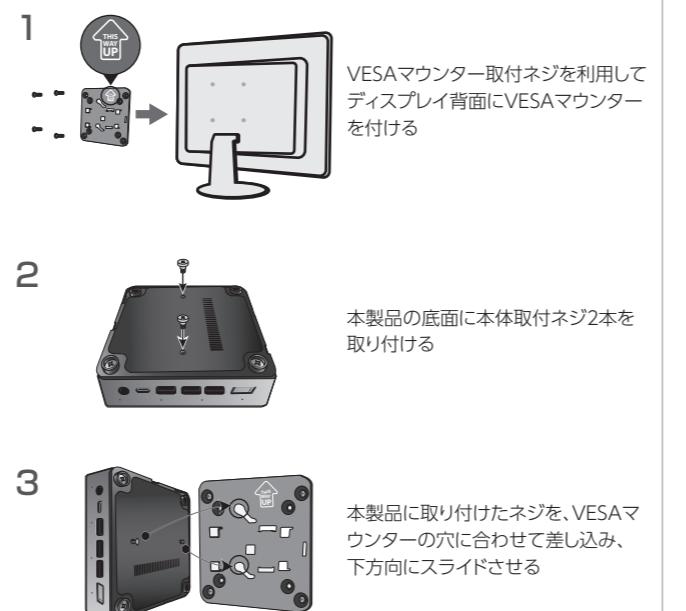


本製品の電源ボタンを押すと Windows の初期設定画面が表示されます。画面にしたがって初期設定をおこないご利用ください。

接地接続(アース接続)についてのご注意

- 接地接続(アース接続)をつないでから、電源プラグをコンセントにつないでください。
- 接地接続(アース接続)を外す際は、先に電源プラグをコンセントから抜き、その後接地接続(アース接続)を取り外しおこなってください。

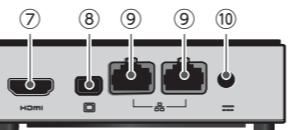
ディスプレイ背面に設置する場合



この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

各部の名称



- | | |
|--|--|
| ① 電源ボタン
押すと、電源が入ります。 | ⑥ 盗難防止ホール |
| ② USB 3.2 Gen 1 (USB 3.0)
Standard Aポート | ⑦ HDMI端子
HDMIケーブルは別途ご用意ください。 |
| ③ USB 3.2 Gen 1 (USB 3.0)
Type-Cポート | ⑧ Mini DisplayPort
DisplayPortケーブルは別途ご用意ください。 |
| ④ マイク | ⑨ LANポート |
| ⑤ ヘッドセット端子 | ⑩ 電源端子
添付のACアダプターをつなぎます。 |

使用上のご注意

■ 本製品の動作中に電源コードを引き抜いたり、電源タップのスイッチで本製品への通電を切ったりしないでください。
また、電源ボタン長押しによる強制シャットダウンをしないでください。システムやデータが破損する恐れがあります。

■ 風通しの良いところでご使用ください。

■ 本製品にホコリなど汚れがたまっている場合
電源を切ってから乾いた布などで汚れを拭きとる、または掃除機などでホコリを吸引してください。
エアスプレーなどは使わないでください。風圧でホコリが飛び、本製品の内部に入り込む恐れがあります。

■ 以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。

●ペースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器

●工場の製造ライン等で使われている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)

●特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

■ 携帯電話、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使わないでください。音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■ 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。本製品で使用している電波は、通常の家庭で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。

ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

■ 本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れてください。

■ IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g で通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は40m です。

■ 法令により、5GHz 帯のW52、W53 を屋外で使用することは禁止されています。5GHz 帯のW56 は法令により屋外での使用が可能ですが、本製品を屋外で使用する必要がある場合は、5GHz 帯のW56 または2.4GHz 帯をご利用ください。

W52:36,40,44,48ch

W53:52,56,60,64ch

W56:100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch

■ 5GHz 帯で使用するチャネルはW52 とW53とW56 です。
J52 の装置との通信はできません。

J52:34,38,42,46ch

■ W53 またはW56 で接続する場合は、法令により次のような制限事項があります。

● 通信中にアクセスポイントがレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただけたための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

⚠ 警告

本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
●お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
●水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に置かない
●万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない、本製品を発熱するもののそばに置かない
発火の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ず AC アダプターを取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品には触れない
感電の原因になります。

無線機能について

本製品を病院内で使わない
医療機器の誤動作の原因になります。

本製品を飛行機の中で使わない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

ペースメーカーなどの医療機器や産業・科学機器の近くで使わない
各機器の動作に影響を与え、事故の原因となります。また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

電源(ACアダプター・コード・プラグ)について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
ACアダプターや電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながない
発熱、発火の原因になります。

ACアダプターや電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがある場合にはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コードが被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(1500Wなどの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

⚠ 注意

- 長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。
- 本製品を踏まない
破損し、ケガをするおそれがあります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
- 人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

- 重要**
- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を日付に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
 - 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア



<https://www.iodata.jp/lib/>

電話でのお問い合わせ

050-3116-3012

受付 9:00~17:00 月~金曜日(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ



<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/signage>

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・ID や パスワード、クレジットカード番号等の個人情報
・メール 内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定をおこなって製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

当社の無線 LAN 製品は出荷時状態ではセキュリティに関する設定がされていますが、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについてお客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。当社では、お客様がセキュリティの設定をおこなわいで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをお奨めします。

※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

アフターサービス

修理の流れ

保証期間 1 年間



① Web で修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。



<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>

※Web ページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL (FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

② 修理センターに送付

- 商品一式
 申込番号を書いたメモ (Web 申込時に発行された番号)
 レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。

※修理の進捗状況は上記 Web ページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

[ユーザー登録はこちら]…<https://iportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品に印字されている12桁の英数字です。(例: ABC1234567ZX)

[商標について]

- HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
● 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

[ご注意]

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

